

報告書

令和3年3月28日

会社名) 株式会社天使の翼

氏名) 松田嘉孝

テーマ) 施設外終了による地域での働く場の確保と連携した取り組みについて

施設外についての流れと実績)

■MARUKO

2015(平成27)年12月より、一つの工場で生産活動(委託業務)を開始し、2018(平成30)年5月より、二つめの工場での生産活動(委託業務)を開始する。

■カドル

2015(平成27)年12月より、一つの工場で生産活動(委託業務)を開始し、2017(平成29)年3月より、二つめの工場での生産活動(委託業務)を開始する。

■実績

	MARUKO	カドル
2015年度	¥3,680,172	¥4,068,732
2019年度	¥14,687,261	¥9,396,392
差異(プラス)	11,007,089	5,327,660
伸び率	299%	131%

最初の時と比べて、年間の生産活動(委託業務)がUPしてきている。

利用者さんの賃金確保においても、以前は30%程度であったが、現在は平均80%以上となっている。(MARUKOの1事業所は100%超え)

生産活動の作業内容)

■MARUKO

一つ目の工場では「串指しの作業」は機械を取り扱っている。また、「パックに肉を入れる作業」も兼務しており、製品の種類が多く、両作業慣れるまでに時間がかかったが、委託先様からの指導員への教育、指導員支援や手順書を作成で、現在の生産に向上している。二つ目の作業は、「唐揚げび仕込み作業」をしており、最初の数か月は手間取ったが、同じく委託先様からの指導員への教育、指導員支援で現状の生産まで向上している。

■カドル

一つ目の工場では「パックに肉を入れる作業」を行っているが、上記同様慣れるまでに数か月かかった。二つ目の工場では「パン粉付け作業」を行っているが、これも同様に慣れるのに数か月かかったが、委託先様からの指導員への教育、指導員支援で現状の生産まで向上している。

連携について)

両事業所とも、一つ目の工場での委託に対して、生産がスムーズに出来てるようになったため、委託先の社長様に相談し、「事業所の本拠地である氷川（カドル）と松橋（MARUKO）に工場を立ち上げていただいた」という経緯になっており、社長様としても、工場の拡大・作業員の増員を検討されていたので、お互いがマッチング出来たのではないかと考えている。この展開について、委託先様も、商品開発・生産計画等大変苦労されたと考える。

また、1名の利用者さんが委託先への就職を希望され、現在も仕事を続けておられる。

今後の進め方について)

生産性の向上に取り組み、より多くの委託を受けれるよう、委託先の会社様へ貢献できるよう進めていきたい。

委託先社長様コメント

連携については、お互い事業の拡大を目標にとてもマッチングしていると思っている。

委託先の天使の翼の評価については、切っても切れない縁であり、当社の事業所において不可欠な存在になっている。仕事ぶりについては、毎日同じような仕事をお願いしているが、非常にまじめに取り組んでもらっている。品質面についても、指導員の指導により、衛生的な商品作りと標準作業も守られていると考える。

緒方